

基山町議会  
議長 重松一徳様

総務文教常任委員会  
委員長 天本勉

### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

#### 記

#### 1 調査事項及び調査期日

##### (1) 学童保育 放課後児童クラブの現状及び課題について

教育学習課の概要説明及び現地視察 令和5年7月19日(水)

#### 2 調査結果

放課後児童クラブの事業(放課後児童健全育成事業)は、児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づく事業で、小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに授業の終了後に児童厚生施設等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて児童の健全な育成を図ることが目的とされている。

基山小学校のひまわり教室の定員は200名で、4教室を支援員(補助員含め)21名で運営しており、若基小学校のコスモス教室の定員は80名で、通常1教室を支援員6名で運営している。令和5年5月1日現在のコスモス教室の登録者数は68名で令和3年度の34名から倍増しているとの説明を受けた。

保護者の所得に違いがあると思うが、利用料の減免はあるのかと質したところ、基山町は他市町に比べて利用料を低く設定しているので、生活保護世帯のみを減免しているとの説明を受けた。

子どもたちが食しているおやつはどのように選定しているか質したところ、新型コロナ等の影響もあり個包装のものにするなど、苦慮しながら選んでいるとの説明を受けた。

基山小学校のひまわり教室と若基小学校のコスモス教室とで支援員の配置換えは行っているか質したところ、支援員へのヒアリングを行っており、必

要に応じて実施している。令和3年度はコスモス教室からひまわり教室へ1名、令和5年度はコスモス教室からひまわり教室へ1名配置換えし、ひまわり教室でも教室間で数名が異動しているとの説明を受けた。

コスモス教室は平成19年に校舎内に移って16年が経過し、ひまわり教室は平成21年に建設されてから14年が経過している。施設の改善等の必要性について質したところ、若基小学校の大規模改修の時期に併せて改修を考えていきたい。また、ひまわり教室2階の男子トイレについては児童の使用に不便が生じているとの説明を受けた。

当委員会としては、ひまわり教室の2階男子トイレを児童が安心して使えるようにするため、早急に改修するよう提案した。

子どもの指導について問題点はないかと質したところ、近年配慮が必要な児童が急激に増加しているため、支援員の負担は増えている。負担軽減のため、町で子育て支援ネットワークコーディネーター（臨床心理士1名、社会福祉士2名）を委嘱し、巡回を月2回実施している。その後必要に応じ、個人面談やケース会議を行っている。また、児童発達支援・放課後デイサービス等の実績のある業者に年間50回巡回訪問をお願いし、児童対応の実践的なアドバイスや研修を行っているとの説明を受けた。

児童数に対する支援員の配置基準について質したところ、国の基準はおおむね児童数40人で支援員2名以上、県のガイドラインでは36人で支援員3名以上が望ましいとの説明を受けた。

当委員会としては、国県の基準は満たしているが子どもたちが過密な状況にあり、ゆとりのある空間が必要ではないか。今後は支援員の確保を含め対象学年の見直しや1教室の人数を検討していくべきではないかと提案した。